

平成30年度当初予算案
(平成29年度2月補正含む)

主要事項説明資料

建設交通部

主要事項説明資料目次

建設交通部

頁	事 業 名	担当課
1	生活・交通基盤整備事業費 安心・安全基盤整備事業費	監理課
2	防災基盤整備事業費 社会基盤長寿命化対策費 地域密着型社会資本整備事業費	監理課
3	防災・減災緊急対策事業費	監理課
4	府民公募型整備事業費	指導検査課
5	鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業費 鉄道駅利便性向上整備事業費	交通政策課
6	J R奈良線複線化・高速化整備事業費	交通政策課
7	北近畿タンゴ鉄道支援費	交通政策課
8	地域公共交通網再構築事業費	交通政策課
9	地域公共交通高度化推進事業費	交通政策課
10	鴨川納涼事業費	河川課
11	住宅耐震化総合支援事業費	建築指導課
12	大規模建築物耐震化支援事業費	建築指導課
13	緊急輸送道路沿道建築物耐震化支援事業費	建築指導課
14	次世代下宿「京都ソリデール」事業費	住宅課
15	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費	港湾企画課
16	「海の京都」事業費	港湾企画課
17	「森の京都」事業費	交通政策課
18	「お茶の京都」事業費	交通政策課
19	京都・かぐや姫観光推進事業費	道路建設課 道路管理課

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	生活・交通基盤整備事業費 安心・安全基盤整備事業費		新規・ 継続の別		継 続									
	予 算 額	国 庫	起 債	その他	一般財源									
	32,378,551千円 (うち当初:27,078,551千円、 2月補正:5,300,000千円)	10,501,033	19,580,000	903,018	1,394,500									
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>(1) 京都の将来成長戦略を見据えた物流・人流の社会基盤整備を着実に推進する。</p> <p>(2) 大型台風や巨大地震などの大規模災害から、府民のいのちと暮らしを守るための安心・安全基盤整備を着実に推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> 生活・交通基盤整備事業費 </td> <td style="text-align: right; padding: 5px;"> 16,424,629千円 (うち当初:13,475,629千円、2月補正:2,949,000千円) </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 広域的・基幹的な役割を果たす道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国道307号(奥山田バイパス)、国道312号(大宮峰山インター線)、宇治木屋線(犬打峠)、郷ノ口余部線(宇津根橋) ほか ▶ 府内の中核都市をつなぐ道路の整備や渋滞が発生する場所の解消 <ul style="list-style-type: none"> ・綾部宮島線(南丹市)、小倉西舞鶴線(舞鶴市)、東中央線(木津川市) ほか ▶ 都市公園、府営住宅の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川公園、山城総合運動公園、宇治公園 ほか ・芥子谷団地(舞鶴市) ほか </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 安心・安全基盤整備事業費 </td> <td style="text-align: right; padding: 5px;"> 15,953,922千円 (うち当初:13,602,922千円、2月補正:2,351,000千円) </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 頻発する集中豪雨を踏まえ、浸水被害を減少させるための河川改修、土砂災害対策等を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川(京都市)、四宮川(京都市)、弘法川・法川(福知山市)、桂川(亀岡市)、古川(城陽市)、福田川(京丹後市)、北川(京都市)、洪水時特化型水位計の配置 ほか </td> <td></td> </tr> </table>						生活・交通基盤整備事業費	16,424,629千円 (うち当初:13,475,629千円、2月補正:2,949,000千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 広域的・基幹的な役割を果たす道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国道307号(奥山田バイパス)、国道312号(大宮峰山インター線)、宇治木屋線(犬打峠)、郷ノ口余部線(宇津根橋) ほか ▶ 府内の中核都市をつなぐ道路の整備や渋滞が発生する場所の解消 <ul style="list-style-type: none"> ・綾部宮島線(南丹市)、小倉西舞鶴線(舞鶴市)、東中央線(木津川市) ほか ▶ 都市公園、府営住宅の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川公園、山城総合運動公園、宇治公園 ほか ・芥子谷団地(舞鶴市) ほか 		安心・安全基盤整備事業費	15,953,922千円 (うち当初:13,602,922千円、2月補正:2,351,000千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 頻発する集中豪雨を踏まえ、浸水被害を減少させるための河川改修、土砂災害対策等を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川(京都市)、四宮川(京都市)、弘法川・法川(福知山市)、桂川(亀岡市)、古川(城陽市)、福田川(京丹後市)、北川(京都市)、洪水時特化型水位計の配置 ほか 	
生活・交通基盤整備事業費	16,424,629千円 (うち当初:13,475,629千円、2月補正:2,949,000千円)													
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 広域的・基幹的な役割を果たす道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国道307号(奥山田バイパス)、国道312号(大宮峰山インター線)、宇治木屋線(犬打峠)、郷ノ口余部線(宇津根橋) ほか ▶ 府内の中核都市をつなぐ道路の整備や渋滞が発生する場所の解消 <ul style="list-style-type: none"> ・綾部宮島線(南丹市)、小倉西舞鶴線(舞鶴市)、東中央線(木津川市) ほか ▶ 都市公園、府営住宅の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川公園、山城総合運動公園、宇治公園 ほか ・芥子谷団地(舞鶴市) ほか 														
安心・安全基盤整備事業費	15,953,922千円 (うち当初:13,602,922千円、2月補正:2,351,000千円)													
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 頻発する集中豪雨を踏まえ、浸水被害を減少させるための河川改修、土砂災害対策等を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川(京都市)、四宮川(京都市)、弘法川・法川(福知山市)、桂川(亀岡市)、古川(城陽市)、福田川(京丹後市)、北川(京都市)、洪水時特化型水位計の配置 ほか 														
担当課・担当名	監理課 経理担当		課・担当 電話番号	075-414-5173										

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	防災基盤整備事業費 社会基盤長寿命化対策費 地域密着型社会資本整備事業費		新規・ 継続の別	継 続																									
	予 算 額	9,095,057千円	国 庫	起 債	その他	一般財源																							
—			7,568,000	230,213	1,296,844																								
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>府民のくらしの安心・安全を守るための防災基盤整備、橋梁等社会インフラの計画的な予防補修、きめ細やかな小規模改良事業を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>防災基盤整備事業費</td> <td style="text-align: right;">1,806,246千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">府民の安心・安全を守るための防災基盤整備について、ソフト・ハード対策を最適に組み合わせながら、重点実施</td> </tr> <tr> <td>▶ ソフト対策</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ・土砂災害警戒情報システムの運用</td> <td style="text-align: right;">ほか</td> </tr> <tr> <td>▶ ハード対策</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ・天井川対策の重点化、河川管理施設機能向上、避難所等の防災拠点の保全</td> <td style="text-align: right;">ほか</td> </tr> <tr> <td>社会基盤長寿命化対策費</td> <td style="text-align: right;">879,886千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">橋りょう、舗装、砂防施設の予防補修を実施</td> </tr> <tr> <td>地域密着型社会資本整備事業費</td> <td style="text-align: right;">6,408,925千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">府民生活や地域の安心・安全の確保に繋がる、きめ細やかな小規模改良事業を実施</td> </tr> <tr> <td>▶ 地域道路の1.5車線の整備、道路未改良区間の拡幅</td> <td style="text-align: right;">ほか</td> </tr> <tr> <td>▶ 河川の浚渫、護岸補修</td> <td style="text-align: right;">ほか</td> </tr> </table>					防災基盤整備事業費	1,806,246千円	府民の安心・安全を守るための防災基盤整備について、ソフト・ハード対策を最適に組み合わせながら、重点実施		▶ ソフト対策		・土砂災害警戒情報システムの運用	ほか	▶ ハード対策		・天井川対策の重点化、河川管理施設機能向上、避難所等の防災拠点の保全	ほか	社会基盤長寿命化対策費	879,886千円	橋りょう、舗装、砂防施設の予防補修を実施		地域密着型社会資本整備事業費	6,408,925千円	府民生活や地域の安心・安全の確保に繋がる、きめ細やかな小規模改良事業を実施		▶ 地域道路の1.5車線の整備、道路未改良区間の拡幅	ほか	▶ 河川の浚渫、護岸補修	ほか
	防災基盤整備事業費	1,806,246千円																											
府民の安心・安全を守るための防災基盤整備について、ソフト・ハード対策を最適に組み合わせながら、重点実施																													
▶ ソフト対策																													
・土砂災害警戒情報システムの運用	ほか																												
▶ ハード対策																													
・天井川対策の重点化、河川管理施設機能向上、避難所等の防災拠点の保全	ほか																												
社会基盤長寿命化対策費	879,886千円																												
橋りょう、舗装、砂防施設の予防補修を実施																													
地域密着型社会資本整備事業費	6,408,925千円																												
府民生活や地域の安心・安全の確保に繋がる、きめ細やかな小規模改良事業を実施																													
▶ 地域道路の1.5車線の整備、道路未改良区間の拡幅	ほか																												
▶ 河川の浚渫、護岸補修	ほか																												
担当課・担当名	監理課 経理担当	課・担当 電話番号	075-414-5173																										

平成30年度当初予算案主要事項（平成29年度2月補正予算含む）説明

共 通

事業名	防災・減災緊急対策事業費		新規・継続の別		継続（一部新規）	
	予 算 額	34,566,092千円	国庫	起債	その他	一般財源
			11,089,609	20,435,000	1,478,492	1,562,991
事業内容 （目的） （対象） （方法等）	<p>1 趣旨・目的 平成29年台風災害からの一日も早い復旧復興を目指すとともに、頻発する集中豪雨や南海トラフ地震等に備え、総合的な治水対策や耐震化対策など必要な防災・減災対策の強化を図る。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 平成29年台風災害からの復旧復興【新規】 (2,052,980千円) (監理課) 平成29年台風災害で被災した土木施設等災害復旧 内水被害軽減のための排水ポンプ車の配備 (山城、中丹) ほか</p> <p>(2) 総合的な治水対策の強化 (20,730,750千円) 平成29年台風災害や、平成26年8月豪雨災害などの3年連続して甚大な被害を受けたことを踏まえ、「河川改修」、「貯留施設整備」、「災害に備える環境整備」の総合的な治水対策の実施</p> <p>①「河川改修」 (監理課) <河 川>鴨川 (京都市)、四宮川 (京都市)、弘法川・法川 (福知山市)、桂川 (亀岡市)、古川 (城陽市)、福田川 (京丹後市) 等</p> <p>②「貯留施設整備」 <下 水>いろは呑龍トンネル (京都市、向日市、長岡京市) (環境総務課) <ため池>豊富用水池 (福知山市) 等 (農政課) ほか</p> <p>③「災害に備える環境整備」 <治 山>岩間・上漆原 (福知山市) 等 (農政課) 洪水時特化型水位計の設置 (監理課) ほか</p> <p>(3) 原子力防災対策 (1,222,756千円) (原子力防災課) 避難路整備や資機材整備など、原子力災害発生時における避難体制の強化</p> <p>(4) 地震防災対策 (5,591,733千円) 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化支援など、地震対策の重点実施 (監理課) 災害発生時の拠点施設としての機能を併せ持つ警察本部庁舎の整備 (警察本部) ほか</p> <p>(5) 社会福祉法人の災害時対応の推進【新規】 (55,000千円) (介護・地域福祉課) 社会福祉法人の災害時における要配慮者への支援強化にかかる取組を支援</p> <p>(6) 土砂災害対策 (3,070,518千円) (監理課) <砂 防>仕伏町地区 (京都市)、堤谷川 (与謝野町) ほか</p> <p>(7) その他 (1,842,355千円) (災害対策課) 総合防災訓練の実施や備蓄物資の充実、災害ボランティアセンター運営、土木施設の災害復旧 ほか</p>					
担当課名	知事直轄組織 総務部 府民生活部 文化スポーツ部 環境部 健康福祉部 商工労働観光部 農林水産部 建設交通部 教育委員会 警察本部	国際課 府有資産活用課 防災消防企画課 災害対策課 原子力防災課 文化スポーツ総務課 環境総務課 健康福祉総務課 介護・地域福祉課 観光政策課 農政課 監理課 総務企画課 会計課	課・担当 電話番号	075-414-4311 075-414-5446 075-414-4466 075-414-4472 075-414-4473 075-414-4183 075-414-4703 075-414-4687 075-414-4678 075-414-4841 075-414-4948 075-414-5173 075-414-5708 075-451-9111 (内2260)		

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部
警察本部

事業名	府民公募型整備事業費		新規・継続の別		継続										
	予算額	1,825,000千円	国庫	起債	その他	一般財源									
				—	1,802,000	—	23,000								
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>府民からの安心・安全などにつながる提案により、公共事業を実施することで、身近な公共施設の整備を推進する。</p> <p>(1) 安心・安全整備 交通安全対策や災害防止対策等</p> <p>(2) 景観整備 施設の美化整備</p> <p>2 事業概要 (百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>所要額</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路舗装の補修 道路側溝の整備 河川護岸の補修 河川の浚渫 道路照明施設の再塗装 ガードレールなど防護柵の再塗装</td> <td>1,700</td> <td>建設交通部</td> </tr> <tr> <td>信号機の新設 信号機の改良(歩行者用灯器の増灯、視覚障害者用付加装置の設置)</td> <td>125</td> <td>警察本部</td> </tr> </tbody> </table>						事業内容	所要額	所 管	道路舗装の補修 道路側溝の整備 河川護岸の補修 河川の浚渫 道路照明施設の再塗装 ガードレールなど防護柵の再塗装	1,700	建設交通部	信号機の新設 信号機の改良(歩行者用灯器の増灯、視覚障害者用付加装置の設置)	125	警察本部
	事業内容	所要額	所 管												
道路舗装の補修 道路側溝の整備 河川護岸の補修 河川の浚渫 道路照明施設の再塗装 ガードレールなど防護柵の再塗装	1,700	建設交通部													
信号機の新設 信号機の改良(歩行者用灯器の増灯、視覚障害者用付加装置の設置)	125	警察本部													
担当課・担当名	指導検査課 調整担当 警察本部 交通規制課管制センター	課・担当 電話番号	075-414-5228 (代)075-451-9111(内 5211)												

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業費 鉄道駅利便性向上整備事業費		新規・ 継続の別		継続																						
	予算額	272,323千円 (うち当初:217,323千円、 2月補正:55,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源																					
			—	264,000	—	8,323																					
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>鉄道駅の利便性安全性の向上等を図るため、国庫補助制度と協調し、関係市町とともに、鉄道事業者が行うバリアフリー化事業等に対して助成する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業費 45,000 千円 (うち当初:5,000 千円、2月補正:40,000 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象駅</th> <th>主な整備項目</th> <th>予定年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J R黄檗駅</td> <td rowspan="3">エレベーター設置 他</td> <td rowspan="4">29～32</td> </tr> <tr> <td>J R桃山駅</td> </tr> <tr> <td>J R山崎駅</td> </tr> <tr> <td>J R京都駅</td> <td>ホーム柵設置</td> </tr> <tr> <td>近鉄伊勢田駅</td> <td>エレベーター設置 他</td> <td>30～32</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 鉄道駅利便性向上整備事業費 227,323 千円 (うち当初:212,323 千円、2月補正:15,000 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象駅</th> <th>主な整備項目</th> <th>予定年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪急/京福 西院駅</td> <td rowspan="2">エレベーター設置 多機能トイレ 他</td> <td>26～31</td> </tr> <tr> <td>J R西大路駅</td> <td>29～32</td> </tr> </tbody> </table>						対象駅	主な整備項目	予定年度	J R黄檗駅	エレベーター設置 他	29～32	J R桃山駅	J R山崎駅	J R京都駅	ホーム柵設置	近鉄伊勢田駅	エレベーター設置 他	30～32	対象駅	主な整備項目	予定年度	阪急/京福 西院駅	エレベーター設置 多機能トイレ 他	26～31	J R西大路駅	29～32
対象駅	主な整備項目	予定年度																									
J R黄檗駅	エレベーター設置 他	29～32																									
J R桃山駅																											
J R山崎駅																											
J R京都駅	ホーム柵設置																										
近鉄伊勢田駅	エレベーター設置 他	30～32																									
対象駅	主な整備項目	予定年度																									
阪急/京福 西院駅	エレベーター設置 多機能トイレ 他	26～31																									
J R西大路駅		29～32																									
担当課・担当名	交通政策課 整備担当	課・担当 電話番号	075-414-4360																								

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	JR奈良線複線化・高速化整備事業費		新規・継続の別		継続	
	予算額	1,650,934千円	国庫	起債	その他	一般財源
			—	1,640,000	—	10,934
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>二つの古都（京都ー奈良）を結ぶJR奈良線の利便性向上による京都府南部地域の活性化を図るため、JR奈良線の複線化・高速化第二期事業の早期完成を目指す。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 複線化本体事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道施設設計 ・線増工事 <p>(2) 複線化に伴う関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉水駅 (H27～H31) 駅舎橋上化 ・六地藏駅 (H28～H35) 駅舎改築 					
担当課・担当名	交通政策課 整備担当		課・担当 電話番号		075-414-4360	

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	北近畿タンゴ鉄道支援費		新規・ 継続の別	継 続	
予 算 額	358,336千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		—	—	—	358,336
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>安心・安全・快適性を確保するための基盤部分（インフラ）への支援を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>基盤管理補助</p> <p>・基盤部分（線路・電路・車両）の維持管理等に係る経費に対するの支援</p>				
担当課・担当名	交通政策課 調整担当	課・担当	電話番号	075-414-4360	

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	地域公共交通網再構築事業費		新規・ 継続の別	継 続									
予 算 額	20,700千円	国 庫	起 債	その他	一般財源								
		10,350	—	—	10,350								
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>住民にとってなくてはならない移動手段である地域の鉄道を守るため、鉄道駅の賑わいの創出と公共交通の利用促進を図る「駅再生プロジェクト」の取組に対する支援を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>駅再生プロジェクト推進事業費</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>対象駅</th> <th>主な整備項目</th> <th>事業年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大河原駅</td> <td rowspan="3">駅舎内外装の改装 観光案内の整備 駅前広場の改良 等</td> <td rowspan="3">29～30</td> </tr> <tr> <td>和知駅</td> </tr> <tr> <td>山家駅</td> </tr> </tbody> </table>					対象駅	主な整備項目	事業年度	大河原駅	駅舎内外装の改装 観光案内の整備 駅前広場の改良 等	29～30	和知駅	山家駅
対象駅	主な整備項目	事業年度											
大河原駅	駅舎内外装の改装 観光案内の整備 駅前広場の改良 等	29～30											
和知駅													
山家駅													
担当課・担当名	交通政策課 整備担当 交通政策課 調整担当	課・担当 電話番号	075-414-4360										

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	地域公共交通高度化推進事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	13,400千円	国庫	起債	その他	一般財源
		6,700	—	—	6,700
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>地域の実情に応じた公共交通の構築に向けた支援及び先進的取組を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 地域でつくり・支える公共交通システム支援事業 (6,650 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画に基づく交通網再編の支援 <p>(2) コミュニティ支援マルチ交通事業 (5,000 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅客輸送・貨物輸送・生活支援サービスを一体的に提供する交通システムの構築支援 ・同交通システムの運用を支援するICTシステムの構築 <p>(3) 次世代モビリティ交通推進事業 (1,750 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動小型低速車両等を活用した先進的な運用モデルの構築 				
担当課・担当名	交通政策課 企画担当	課・担当	電話番号	075-414-5143	

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

商工労働観光部
建設交通部

事業名	鴨川納涼事業費			新規・ 継続の別	継 続
予 算 額	14,800千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		—	—	—	14,800
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 鴨川美化啓発活動として昭和44年より開催され、多くの府民に親しまれ京の夏の風物詩として定着した「鴨川納涼」を、河川愛護、環境保全の啓発及び観光誘客事業として実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 開催時期 平成30年8月4日(土)～5日(日)(予定)</p> <p>(2) 開催場所 鴨川河川敷(四条～三条間)</p> <p>(3) 事業主体 鴨川納涼実行委員会 <構成団体> 〔 京都府、京都市、京都商工会議所、(公社)京都府観光連盟、 (公社)京都市観光協会、(一社)鴨川流域ネットワーク、 鴨川を美しくする会、京都ふるさとの集い連合会 〕</p> <p>(4) 内 容 ・河川愛護、水環境保全、地球温暖化防止等の啓発 ・京都の伝統産業、文化の紹介 ・京都ふるさとの集い連合会によるふるさと製品の展示即売</p>				
担当課・担当名	観光政策課 観光振興・基盤整備担当 河川課 管理担当		課・担当 電話番号		075-414-4841 075-414-5284

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	住宅耐震化総合支援事業費		新規・ 継続の別	拡充																													
予算額	170,000千円	国庫	起債	その他	一般財源																												
		81,750	—	—	88,250																												
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 京都府建築物耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震性の向上を図るため、耐震診断・耐震改修工事及び耐震シェルター設置の助成を行い大地震による被害の軽減を目指す。</p> <p>2 事業内容</p> <p>①耐震診断 ◇耐震診断事業を実施する市町村に対し、その経費の一部を補助</p> <table border="1"> <tr> <td>対象住宅</td> <td>昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>住宅の耐震性の評価、耐震改修工事費の概算、耐震改修等に関するアドバイスを実施</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>5万円/戸（別途府民負担額 3千円）</td> </tr> </table> <p>②耐震改修等 ◇耐震改修事業等を実施する市町村に対し、その経費の一部を補助</p> <p>●負担割合</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>府</td> <td>市町村</td> </tr> <tr> <td>1 / 2</td> <td>1 / 4</td> <td>1 / 4</td> </tr> </table> <p>●補助内容</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>耐震改修</td> <td>簡易耐震改修</td> <td>耐震シェルター設置</td> </tr> <tr> <td>対象住宅</td> <td colspan="3">昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>改修後の評点が0.7以上 に向上する改修</td> <td>屋根の軽量化等、耐震性が 確実に向上する改修</td> <td>耐震シェルターの設置</td> </tr> <tr> <td>補助上限額</td> <td>90万円/戸</td> <td>30万円/戸</td> <td>30万円/戸</td> </tr> </table> <p>※平成30年度から、耐震シェルター設置の高齢者等の居住要件を撤廃 【拡充】</p>					対象住宅	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅	事業内容	住宅の耐震性の評価、耐震改修工事費の概算、耐震改修等に関するアドバイスを実施	補助額	5万円/戸（別途府民負担額 3千円）	国	府	市町村	1 / 2	1 / 4	1 / 4		耐震改修	簡易耐震改修	耐震シェルター設置	対象住宅	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅			事業内容	改修後の評点が0.7以上 に向上する改修	屋根の軽量化等、耐震性が 確実に向上する改修	耐震シェルターの設置	補助上限額	90万円/戸	30万円/戸	30万円/戸
対象住宅	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅																																
事業内容	住宅の耐震性の評価、耐震改修工事費の概算、耐震改修等に関するアドバイスを実施																																
補助額	5万円/戸（別途府民負担額 3千円）																																
国	府	市町村																															
1 / 2	1 / 4	1 / 4																															
	耐震改修	簡易耐震改修	耐震シェルター設置																														
対象住宅	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅																																
事業内容	改修後の評点が0.7以上 に向上する改修	屋根の軽量化等、耐震性が 確実に向上する改修	耐震シェルターの設置																														
補助上限額	90万円/戸	30万円/戸	30万円/戸																														
担当課・担当名	建築指導課 建築防災・安全担当	課・担当 電話番号	075-414-5346																														

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	大規模建築物耐震化支援事業費		新規・ 継続の別	拡充																
予算額	34,584千円		国庫	起債	その他	一般財源														
			—	—	—	34,584														
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正（平成25年11月施行）により耐震診断が義務化された民間の大規模建築物に関する耐震化支援事業を実施する市町村に対する助成</p> <p>2 事業概要</p> <p>[補助対象]</p> <p>不特定多数の者や避難において特に配慮を要する者が利用する建築物で耐震化を図る民間の大規模な建築物</p> <p>[負担割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国</th> <th>市町村</th> <th>府</th> <th>所有者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計</td> <td>1 / 2</td> <td>1 / 6</td> <td>1 / 6</td> <td>1 / 6</td> </tr> <tr> <td>改 修 等</td> <td>33.3%</td> <td>5.75%</td> <td>5.75%</td> <td>55.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※不特定多数の者が利用する建築物の改修については、災害時の社会貢献が要件</p> <p>※平成30年度から、補助対象に建替えを追加 【拡充】</p>						国	市町村	府	所有者	設 計	1 / 2	1 / 6	1 / 6	1 / 6	改 修 等	33.3%	5.75%	5.75%	55.2%
	国	市町村	府	所有者																
設 計	1 / 2	1 / 6	1 / 6	1 / 6																
改 修 等	33.3%	5.75%	5.75%	55.2%																
担当課・担当名	建築指導課 建築防災・安全担当		課・担当 電話番号	075-414-5346																

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	緊急輸送道路沿道建築物耐震化支援事業費		新規・ 継続の別	拡充																	
予算額	82,580千円		国庫	起債	その他	一般財源															
			43,480	—	—	39,100															
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>地震発生時の迅速な救援活動を確保するため、建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき、京都府建築物耐震改修促進計画で指定した道路の沿道建築物の耐震化を支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>[補助対象] 地震時に道路を閉塞するおそれがある建築物で、昭和56年5月31日以前に着工した建築物</p> <p>[補助事業] 府の防災拠点施設を結ぶ緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化(耐震診断・耐震設計・耐震改修等)を支援</p> <p>[負担割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国</th> <th>府</th> <th>所有者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診 断</td> <td>1 / 2</td> <td>1 / 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 計</td> <td>1 / 2</td> <td>1 / 3</td> <td>1 / 6</td> </tr> <tr> <td>改 修 等</td> <td>2 / 5</td> <td>1 / 3</td> <td>4 / 15</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度から、補助対象に改修・建替え・除却を追加 【拡充】</p>						国	府	所有者	診 断	1 / 2	1 / 2	—	設 計	1 / 2	1 / 3	1 / 6	改 修 等	2 / 5	1 / 3	4 / 15
	国	府	所有者																		
診 断	1 / 2	1 / 2	—																		
設 計	1 / 2	1 / 3	1 / 6																		
改 修 等	2 / 5	1 / 3	4 / 15																		
担当課・担当名	建築指導課 建築防災・安全担当		課・担当 電話番号	075-414-5346																	

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	次世代下宿「京都ソリデール」事業費		新規・ 継続の別	継 続					
予 算 額	14,000千円	国 庫	起 債	その他	一般財源				
		—	—	—	14,000				
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>若者の府外への転出抑制、府外からの流入促進及び地方への定住促進を図るため、若者への低廉で質の高い住宅確保と自宅の一室を提供する高齢者との交流を図る同居マッチングシステムを構築し、京都ならではの次世代下宿「京都ソリデール」事業を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>若者への低廉で質の高い住宅確保と、若者に自宅の一室を提供する高齢者との交流を図るため、改修が必要な住宅のリフォーム補助と同居マッチングを実施</p> <p>■リフォーム補助概要</p> <table border="1"> <tr> <td>対象経費</td> <td>若者と高齢者の同居に必要なリフォーム工事に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>上限90万円(補助率1/2)</td> </tr> </table> <p>※自己負担額は、府住宅改良資金融資制度の対象</p> <p>■同居マッチング 目標：50組</p>					対象経費	若者と高齢者の同居に必要なリフォーム工事に要する経費	補助額	上限90万円(補助率1/2)
対象経費	若者と高齢者の同居に必要なリフォーム工事に要する経費								
補助額	上限90万円(補助率1/2)								
担当課・担当名	住 宅 課 計 画 担 当	課・担当 電話番号	075-414-5361						

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

商工労働観光部
建設交通部

事業名	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費		新規・継続の別		継続	
	国庫	起債	その他	一般財源		
予算額	296,749千円 (うち2月補正120,000千円)		60,000	118,000	—	118,749
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 日本海側拠点港である京都舞鶴港において、国際海上コンテナ航路の拡充、国際フェリー航路の利用促進、外航クルーズ船の誘致及びクルーズ船寄港時におけるターミナル機能の向上に向けたソフト・ハード一体となった事業を推進</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) コンテナ15,000TEU実現事業 45,500千円 (担当課:経済交流課) 既存航路の拡充や新規航路開拓のため、コンテナ貨物の15,000TEUの確保を目指して、大口貨物の獲得等に向けた取組の推進</p> <p>(2) 日韓露国際フェリー航路利用拡大事業 12,800千円 (担当課:経済交流課) 平成27年7月に開設された日韓露国際フェリーの直行航路化の実現に向け更なる集荷を促進</p> <p>(3) 国際クルーズ誘致事業 40,449千円 (担当課:経済交流課) (担当課:港湾企画課) ・ 急増するアジアのクルーズをターゲットに、日本海側諸港(小樽港、伏木富山港等)と連携した共同プロモーション活動の展開等、クルーズ船の誘致活動を実施 ・ 地元が一体となって乗船客への「おもてなし」を提供し、京都府の観光・物産振興、クルーズ船誘致を促進</p> <p>(4) 京都舞鶴港「海の京都駅(仮称)」推進事業 198,000千円 (うち2月補正120,000千円) (担当課:港湾企画課) 荷役機能の高度化と併せた上屋改装による旅客ターミナルスペースの増及び観光仕分けや食、特産品、体験等によるおもてなし実施のための観光拠点施設の整備(平成31年3月完成予定)</p>					
担当課・担当名	経済交流課 港湾経済担当 港湾企画課 調整担当		課・担当 電話番号		075-414-4844 0773-75-0192	

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

共 通

事業名	「海の京都」事業費			新規・継続の別	一部新規	
予算額	844,828千円 (うち2月補正 120,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源	
		173,344	126,000	9,800	535,684	
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 日本の顔となる「ブランド観光地域」の形成に向け、新たなステージへステップアップを図り、「海の京都」の持続的展開を図るため、観光地経営の主体となるDMO等とともに、地域の総力を結集して観光地域づくりを推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ DMOによる「海の京都」の持続的展開 100,138千円 ・DMOが観光地域づくりの総合プロデューサーとして、戦略的な地域ブランド化、観光交流・観光消費額の拡大を図り、地域の稼ぐ力を創出 ・「海の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を持続・発展させ、エリア内外からの周遊促進等を図るイベントの実施 等</p> <p>○ ブランド観光地域の形成に向けた受入基盤の強化 717,068千円 ・クルーズ船寄港時における利便性向上やおもてなし対策の推進 ・兵庫県・鳥取県等と連携した山陰海岸世界ジオパークの景観保全・地域振興 等</p> <p>○ 「海の京都」ブランドのPR 27,622千円 ・丹後王国「食のみやこ」の10次産業化等拠点づくりの推進 ・丹後とり貝や岩がき等の「海の京都」の魅力を代表する水産物等の生産拡大、地域ブランド創出の推進 等</p>					
担当課・担当名	①企画理事付 企画総務課 企画調整担当 ②計画推進課 計画・地域担当 ③文化政策課 企画・生涯学習担当 ④自然環境保全課 自然環境担当 自然公園担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 ⑤経済交流課 港湾経済担当 ⑥観光政策課 観光振興・基盤整備担当 ⑦農村振興課 移住促進担当 里力再生担当 ⑧経営支援・担い手育成課 農業ビジネス担当 ⑨水産課 漁政企画担当 ⑩港湾企画課 調整担当			課・担当電話番号	075-414-4529 075-414-4336 075-414-4347 075-414-4217 075-414-4378 // 075-682-8913 075-414-4844 075-414-4841 075-414-4906 // 075-414-4908 075-414-4992 0773-75-0192	

「海の京都」事業一覧

(単位:千円)

NO	事業名	概要	予算額	うち2月補正	部局名	
1 DMOによる「海の京都」の持続的展開						
	「海の京都」DMO推進事業費	観光地域づくりの総合プロデューサーとして、観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図り、地域の稼ぐ力を創出	82,300		企画理事付	①
	「海の京都クルージングフェスタ」開催事業費	「海の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を持続・発展させ、エリア内外からの周遊促進等を図るイベントを開催	8,000		企画理事付	①
	「もうひとつの京都」観光PR事業(共通)	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、増加が見込まれるインバウンドを含む観光客を「もうひとつの京都」へ呼び込むため、情報発信を強化	9,838		商工労働観光部	⑥
小 計			100,138	0		
2 ブランド観光地域に向けた受入基盤の強化						
	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進費(国際クルーズ誘致事業費)	外航クルーズ客船のアジア進出の機会を捉え、日本海側諸港(小樽港・伏木富山港等)との連携を強化し、京都舞鶴港の背後観光地の魅力を海外に広くアピールするとともに、地元の受入体制を強化することにより、国際クルーズの誘致を推進	24,049		商工労働観光部	⑤
	京都舞鶴港「海の京都駅(仮称)」推進事業費	クルーズ船寄港時における待合や税関等対応時の利便性向上、おもてなし満足度向上策の実施及びそのための荷役機能の高度化	198,000	120,000	商工労働観光部・建設交通部	⑩
新	農山漁村を守る緊急対策事業費(共通)	米政策の転換や農山漁村の過疎高齢化が進む中、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る地域活動を強化するため、外部人材の活用を含めた地域の基盤づくりや、地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業と提携したビジネスへの発展まで一体的に支援	201,540		農林水産部	⑦
	京都移住促進プロジェクト事業費(共通)(一部再掲)	農山漁村の担い手が減少する中、新たな担い手の確保を核とした農村と都市の共生によるまちづくりを総合的に推進し、活力のある地域を創出	259,054		政策企画部・商工労働観光部・農林水産部	⑦
	新・世界遺産事業費	「天橋立」の世界遺産の登録に向け、地元とも協働し、気運を高めるためのシンポジウム等を開催	2,000		文化スポーツ部	③
	山陰海岸世界ジオパーク推進事業費	兵庫県や鳥取県等と連携し、山陰海岸世界ジオパークの貴重な地質資源や景観の保全と、観光・ジオツーリズムなど地域振興の取組を展開	3,600		環境部	④
新	丹後海と星の見える丘公園整備費	丹後海と星の見える丘公園において、宿泊利用者の満足度向上や、近隣の民泊・宿泊施設と連携した日帰り入浴等新規需要の創出に向け、太陽熱・木質バイオマス併用型ボイラーを整備	20,000		環境部	④
	「TANTANロングライド」開催支援事業費	丹後、中丹地域への観光誘客を図るため、平成30年6月に開催されるロングライド大会への参加者に対するおもてなし事業を実施	1,900		商工労働観光部	⑥
	音と食のミュージアム「海の京都」を食いつくせ！フェスタ開催事業費	クルーズ客船の寄港に合わせ、京都舞鶴港と海の京都をPRする食のフェスタを、民間主催の野外音楽フェスとコラボして開催。あわせて京阪神と京都舞鶴港を直接結ぶ特別列車を運行	3,125		中丹広域振興局	②
	若い力で丹後を元気に！プロジェクト事業	行政、民間団体、地域住民が連携を強化して、大学生等の協力を得ながら、阿蘇海のカキ殻回収や資源化の取組など、持続可能な阿蘇海等の環境づくりを推進	3,000		丹後広域振興局	②
新	山陰海岸ジオパークステップアップ事業	新たな観光手法の確立を目指すため、トレッキングや宿泊を伴いながら、地域の文化や自然、食を楽しめるトレイルコースの整備検討と地域の気運を醸成	800		丹後広域振興局	②
小 計			717,068	120,000		

(問合せ先)

①

①

⑥

①

⑤

⑩

⑦

⑦

③

④

④

⑥

②

②

②

「海の京都」事業一覧

(単位:千円)

NO	事業名	概要	予算額	うち2月補正	部局名
3 「海の京都」ブランドのPR					
	「丹後王国」食と文化・観光の拠点づくり事業費	丹後王国「食のみやこ」において、食人材の育成、観光、文化発信拠点としての魅力アップ及び農業ビジネスを推進し、「農」と「観光」のクロスオーバー産業を育成	9,622		農林水産部 ⑧
	京都産水産物生産・流通拡大事業費	生食用カキの試験生産を実施するほか、養殖等の施設導入や地産地消の取組、試作品開発等を支援	18,000		農林水産部 ⑨
小 計			27,622	0	
総 計			844,828	120,000	

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

共 通

事業名	「森の京都」事業費			新規・継続の別	一部新規	
予算額	951,282千円 (うち2月補正 97,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源	
		388,036	81,000	25,490	456,756	
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 交流産業の振興や林業の付加価値向上、移住・定住の場の確保等により持続可能な生活圏を形成するため、DMO等とともに、森や里山の豊かな自然環境、森の恵みを活かした食や伝統文化、産業、暮らしなどの地域の魅力を活かした地域振興を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ DMOによる「森の京都」の持続的展開 63,968千円 ・DMOが観光地域づくりの総合プロデューサーとして、戦略的な地域ブランド化を行い、観光交流・観光消費額の拡大を図り、地域の稼ぐ力を創出 ・「森の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を活かし、地域の事業を持続・発展させていくためのイベントの実施 等</p> <p>○ 「森の京都」の魅力発信と受入基盤の強化 520,894千円 ・丹波自然運動公園など「森の京都」に係る戦略拠点の整備推進によるコンテンツの強化 ・全国育樹祭を契機に高まった次世代への森林継承の機運を一過性のものとさせないため、森林保全の観点から「木材需要の喚起・消費拡大」「森を学ぶ・体験する」「次世代の育成」をテーマにイベントを開催 等</p> <p>○ 林業振興と森林文化の継承 366,420千円 ・丹波広域基幹林道の機能を活かした木材資源の供給体制の強化 ・府内産材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を目指した総合対策の実施</p>					
担当課・担当名	①企画理事付 企画総務課 企画調整担当 ②スポーツ振興課 国際大会等誘致担当 ③スポーツ施設整備課 スポーツ施設担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 ④産業立地課 調整担当 ⑤観光政策課 観光振興・基盤整備担当 ⑥農村振興課 移住促進担当 里力再生担当 ⑦林 務 課 企画・計画担当 林業振興・府有林担当 木材産業担当 ⑧森づくり推進課 モデルフォレスト推進担当 ⑨交通政策課 整備担当			課・担当電話番号	075-414-4529 075-414-4336 075-414-4252 075-414-4284 075-682-8913 075-414-4848 075-414-4841 075-414-4906 〃 075-414-5016 075-414-5006 075-414-5009 075-414-5005 075-414-4360	

「森の京都」事業一覧

(単位:千円)

NO	概要	予算額	うち2月補正	部局名		
1 DMOによる「森の京都」の持続的展開						
	「森の京都」DMO推進事業費	観光地域づくりの総合プロデューサーとして、観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図り、地域の稼ぐ力を創出	46,130		企画理事付	①
	「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業費	「森の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を活かし、地域の事業を持続・発展させていくため、地域が一体となって取り組むイベントを開催	8,000		企画理事付	①
	「もうひとつの京都」観光PR事業(共通)	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、増加が見込まれるインバウンドを含む観光客を「もうひとつの京都」へ呼び込むため、情報発信を強化	9,838		商工労働観光部	⑤
小 計		63,968	0			
2 「森の京都」の魅力発信と受入基盤の強化						
新	林業「森世紀」創造戦略事業費(豊かな森林継承事業費)	全国育樹祭を契機に高まった次世代への森林継承の機運を一過性のものとさせないため、森林保全の観点から「木材需要の喚起・消費拡大」「森を学ぶ・体験する」「次世代の育成」をテーマにイベントを開催	6,100		農林水産部	⑧
	京都モデルフォレスト推進事業費	森林所有者、ボランティア団体、企業等が連携した府民参画、府民協働による森づくりを推進	5,000		農林水産部	⑧
	農山漁村を守る緊急対策事業費(共通)	米政策の転換や農山漁村の過疎高齢化が進む中、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る地域活動を強化するため、外部人材の活用を含めた地域の基盤づくりや、地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業と提携したビジネスへの発展まで一体的に支援	201,540		農林水産部	⑥
	京都移住促進プロジェクト事業費(共通)(一部再掲)	農山漁村の担い手が減少する中、新たな担い手の確保を核とした農村と都市の共生によるまちづくりを総合的に推進し、活力のある地域を創出	259,054		政策企画部・商工労働観光部・農林水産部	⑥
	地域公共交通網再構築事業費(駅再生プロジェクト推進事業)(共通)	公共交通の維持確保を図るため、市町村が実施する駅及び駅周辺の賑わい復活、交通結節機能の再生への取組に対して助成	20,700		建設交通部	⑨
	スポーツ拠点施設充実費(丹波自然運動公園車いす専用練習コース整備)	府立丹波自然運動公園内にマラソンや駅伝の車いす専用練習コースを整備	27,000		文化スポーツ部	③
	地域活性化スポーツ国際大会等誘致推進費(京都丹波トライアスロン大会in南丹の平成30年度開催に向けた経費を地元南丹市等と組織する実行委員会に対して負担)	京都丹波トライアスロン大会in南丹の平成30年度開催に向けた経費を地元南丹市等と組織する実行委員会に対して負担	500		文化スポーツ部	②
	「森の京都」クラフトモール活用事業費	京都新光悦村への誘致活動の一環として、職人工場の立地、村の活性化を推進するため、未分譲区画に設置した移動式職人工場の維持管理を実施	1,000		商工労働観光部	④
小 計		520,894	0			
3 林業振興と森林文化の継承						
	丹波広域基幹林道の機能を活かした生産体制強化事業費	丹波広域基幹林道を活かした路網の集中整備と森林整備を促進し、木材資源の供給体制を強化	240,880	16,500	農林水産部	⑦
	林業「森世紀」創造戦略事業費	森林資源が伐期を迎える好機を捉え、府内産材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を目指した川下～川上の総合対策を実施	125,540	80,500	農林水産部	⑦
小 計		366,420	97,000			
総 計		951,282	97,000			

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

共 通

事業名	「お茶の京都」事業費			新規・継続の別	一部新規	
予算額	841,732千円	国庫	起債	その他	一般財源	
		183,356	127,000	32,500	498,876	
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 美しい茶畑景観やお茶の文化を維持・継承するとともに、その魅力をさらに高めて国内外に発信することにより、山城地域に大交流圏を形成するため、DMO等とともに、地域の魅力を活かした持続可能な地域振興や産業振興を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ DMOによる「お茶の京都」の持続的展開 76,818千円 ・DMOが観光地域づくりの総合プロデューサーとして、戦略的な地域ブランド化、観光交流・観光消費額の拡大を図り、地域の稼ぐ力を創出 ・「お茶の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運をターゲットイヤー後も持続・発展させていくためのイベントの実施 等</p> <p>○ 宇治茶の文化の価値・魅力の発信、受入基盤の強化 495,294千円 ・宇治茶の世界文化遺産登録推進のための景観資産価値向上 ・宇治茶のプレミアムブランド化の取組の推進 等</p> <p>○ 「お茶の京都」を支えるお茶産業の新展開 269,620千円 ・茶業研究所の機能強化のためのリニューアル整備の実施 ・乗用摘採機に対応するための急傾斜茶園の緩斜面への整備 ・宇治茶生産の効率化と高品質化のための被覆棚施設整備や茶園管理機械導入を支援 等</p>					
担当課・担当名	①企画理事付 企画総務課 企画調整担当 ②スポーツ振興課 国際大会等誘致担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 ③観光政策課 観光振興・基盤整備担当 ④農村振興課 計画基盤担当 移住促進担当 里力再生担当 ⑤流通・ブランド戦略課 研究普及担当 ⑥農産課 宇治茶・特産振興担当 ⑦交通政策課 調整担当			課・担当電話番号	075-414-4529 075-414-4336 075-414-4252 075-682-8913 075-414-4841 075-414-5048 075-414-4906 // 075-414-4968 075-414-4944 075-414-4360	

「お茶の京都」事業一覧

(単位:千円)

NO	概 要	予算額	部局名
1 DMOによる「お茶の京都」の持続的展開			
	「お茶の京都」DMO推進事業費	58,980	企画理事付 ①
	「お茶の京都 宇治茶博2018」開催事業費	8,000	企画理事付 ①
	「もうひとつの京都」観光PR事業(共通)	9,838	商工労働観光部 ③
		76,818	
2 宇治茶の文化の価値・魅力の発信、受入基盤の強化			
新	農山漁村を守る緊急対策事業費(共通)	201,540	農林水産部 ④
	京都移住促進プロジェクト事業費(共通)(一部再掲)	259,054	政策企画部・商工労働観光部・農林水産部 ④
	地域公共交通網再構築事業費(駅再生プロジェクト推進事業)(共通)	20,700	建設交通部 ⑦
	宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費	9,000	農林水産部 ⑥
	地域活性化スポーツ国際大会等誘致推進費(ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ開催負担金)	5,000	文化スポーツ部 ②
		495,294	
3 「お茶の京都」を支えるお茶産業の新展開			
	茶業研究所機能強化事業費	90,470	農林水産部 ⑤
	農林水産業基盤整備事業費	179,150	農林水産部 ⑥
	小 計	269,620	
	総 計	841,732	

(問合せ先)

①

①

③

④

④

⑦

⑥

②

⑤

⑥

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

商工労働観光部
建設交通部

事業名	京都・かぐや姫観光推進事業費			新規・ 継続の別	継 続
予 算 額	167,500千円			国 庫	一般財源
				起 債	その他
	78,250	63,000	1,350		
事業内容 目 的 対 象 方 法 等	<p>1 趣 旨</p> <p>世界的観光都市・京都市に近接し、多くの歴史・文化遺産、自然等の資源を有する乙訓エリアを「竹の里・乙訓」をテーマに、「京都・かぐや姫観光」を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 京都かぐや姫観光事業費 17,500千円 (担当課：観光政策課)</p> <p>「竹の里・乙訓」地域等において、京都府文化観光大使による賑わい創出や、位置情報システム及びARを活用したイベントの実施等により、周遊観光を推進</p> <p>(2) 京都・かぐや姫観光関連道路整備事業 150,000千円 (担当課：道路建設課、道路管理課)</p> <p>周遊環境を改善するため、道路改良等を実施</p>				
担当課・担当名	観光政策課 観光振興・基盤整備担当 道路建設課 道路・橋梁担当 街路担当 道路管理課 安全・指導担当	課・担当 電話番号		075-414-4841 075-414-5252 075-414-5331 075-414-5262	